

東京臨海部・海の森づくり ～緑のまちづくり研修会のミニ報告～ (報告者：柴田代表)

10月31日(木)、秋晴れのなか「東京臨海部・海の森づくり」バス見学ツアー(主催：生麦新子安地区緑のまちづくり協議会)へトンボみちファンクラブの7名が参加してきました。「大井ふ頭中央海浜公園」「城南島海浜公園」を見学した後、工事中の「海の森」へ到着。

その広大な予定地にそびえる42mの頂上へ元気に登頂。そして「若洲海浜公園」では夕暮れがせまるゲートブリッジへエレベータで登りました。

ツアー終点の麒麟横浜ピアビレッジでは、出来たての生ビールを堪能するメンバーが多数。

東京都の臨海部に広がる公園を体感するとともに、横浜市の臨海部の緑地との違いを学習するなど、楽しくて有意義な一日でした。



今年も花苗がやって来た～～！！

昼休みに社員などの有志により植え付けました

10月31日、JR鶴見線弁天橋駅前の機械式駐車場(ミニ10)前のプランターに花苗を植えました。この花苗は、前日にJFEエンジニアリングとトンボみちファンクラブが会員となっている「末広地区緑のまちづくり協議会」活動の一環として花苗が配付されたものを、昼休みの時間を利用して、グループ会社を含めた総勢13名により行われました。

花苗を植えたプランター(11台)は、今年の2月に設置したもので、ビオラ等の花が枯れてしまい、マーガレットのみが元気に育っていました。植えた花苗は、ビオラ・パンジー・ノースポールの3種類90株で、きれいな花を咲かせ、弁天橋駅利用者の心を和ませてくれることでしょう。



←マーガレットが咲き始めたプランターに新たに花苗を植えました。

参加した皆さんで最後に⇒
記念撮影を行いました。
(お決まりのパターンですね)



先月号で「連作障害」に続いて今回は「土壌改良」の方法について報告します

「連作障害」の70%は病虫害関係と先月号で報告しましたが、その対策としては土壌を消毒すれば障害を避けることが出来ます。しかし、薬剤を使用すると有効な菌まで死んでしまったり、作物に危険性が伴ったりすることから、最近では**太陽熱を利用した土壌消毒法**が普及しているようです。(報告者:相馬)

太陽熱利用の土壌消毒



収穫後、野菜の残渣(くず)を取り除く。



水田のように水がためられれば理想的。あるいは水を引き入れるか、できない所ははたつぷりと灌水する。



ビニールを除去して乾燥させてから、もう一度耕して畝立て。元肥は控えめにする。



切りワラなどを2~3kg/m²と石灰窒素を100~150g/m²混ぜる。梅雨明け~8月が適期



古ビニールでマルチングをして乾かないようにし、土はできるだけ粗いまま2週間位このままにしておく。地温の上昇で、カビ、細菌の密度が低下する。

出典:JA西春日井ホームページ「家庭菜園」(栽培のポイント)より

(シリーズ) トンボみちの仲間たち

11月2日(土)(雨天延期)のファンクラブ活動の様子 (撮影:千葉大学の学生さん)



サツマイモ収穫の様子です



不揃いですが沢山収穫できました



お客さんが遊びに来ました

ムカデ(↑)とカマドヘビ(↓)



末広地区緑のまちづくりに参加 皆さんで花苗を植えました



七人の小人さん お花に囲まれ見守っています

(撮影:相馬)



持ち寄った料理で舌鼓

お詫び:先月号で「収穫したサツマイモを茹でて食べました」と報告いたしました。写真のサツマイモはメンバーの方が持ってきたものでした。訂正お詫びいたします。

これからの活動予定です。雨天は1週間延期
 今月:11月23日(土) 10時~12時
 来月:12月28日(土) 10時~12時
 事前の申込みはいりません。誰でも参加可能。

発行日:2013年11月20日
 発行者:トンボみちファンクラブ事務局
 事務局:〒230-8611 横浜市鶴見区末広町2-1
 JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所 環境保全室
 Tel045-505-7447, Fax045-505-6546
 ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています。



京浜の森ログマーク